平成 25 年 1 月 29 日

報道関係各位

東京都港区赤坂二丁目 17 番 22 号
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート
代表取締役社長　中山　義人
（コード番号　3850　東証マザーズ）
問合せ先　取締役　管理本部長
鈴木　誠
TEL 03-5549-2821(代表)

ＮＴＴデータ　イントラマート　開発、連携、業務の効率化を実現するクラウド対応の統合 BPM ツール「IM-BIS」をリリース

株式会社ＮＴＴデータ イントラマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：中山 義人 以下、イントラマート社）は、「アプリケーション開発」、「システム連携」、そして「ビジネスプロセスの効率化」を実現する統合 BPM ツール「IM-BIS (Business Integration Suite)」を 2013 年 2 月 1 日から提供開始します。本製品は、2012 年 10 月にリリースしたシステム基盤製品「intra-mart Accel Platform」上で動作し、クラウドにも対応します。

IM-BIS は、画面作成ツール、ワークフロー、BPM（※１）、BAM（※２）、外部データ連携ツール等、従来の intra-mart Accel Platform 製品群の機能強化と機能拡張を実現した統合ツールです。

IM-BIS は、各機能が連携する上で必要な情報を自動生成し設定するため、開発生産性の向上にも大きく寄与します（当社比較で 26%工数削減)。

また、IM-BIS はワークフローと BPM の機能を同一エンジン上で実現しており、柔軟かつ効果的なビジネスプロセスがデザインでき、それらプロセスで使用する業務画面は、画面ツールにより容易にデザイン、開発、リンクできるため、エンタープライズ・ビジネスプロセスのアジャイル開発（※３）を可能とします。

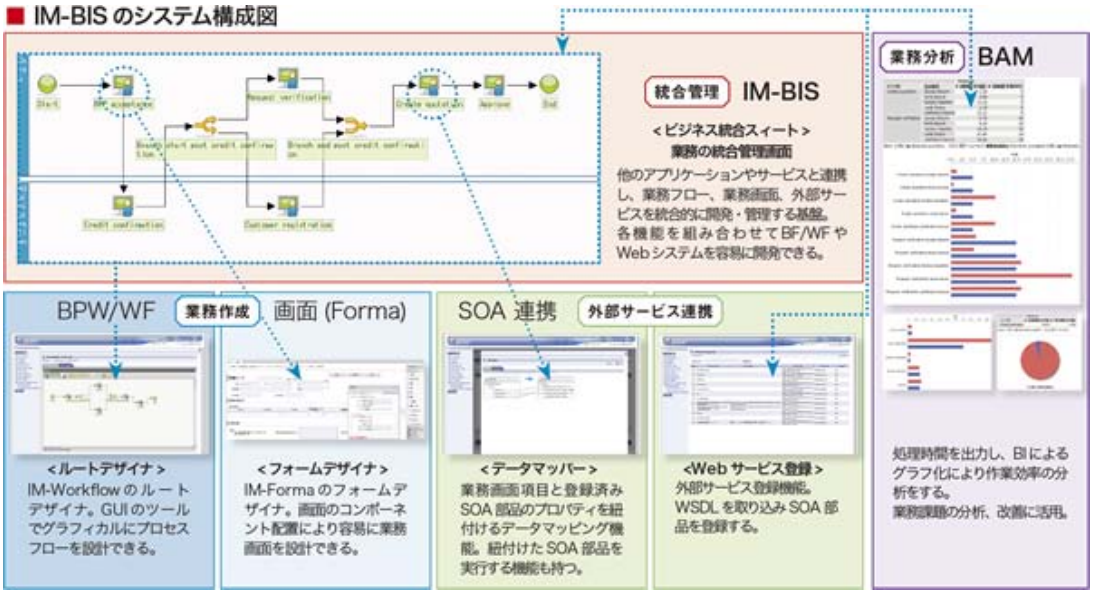
さらには、IM-BIS が提供するデータマッパー機能は Web サービスを通じ、ビジネスプロセスと既存システムの統合を実現し、その結果 IM-BIS は、「人と人」、「人とシステム」、「システムとシステム」をつなぐことにより「お客様のビジネスの加速」の実現を支援します。

■背景

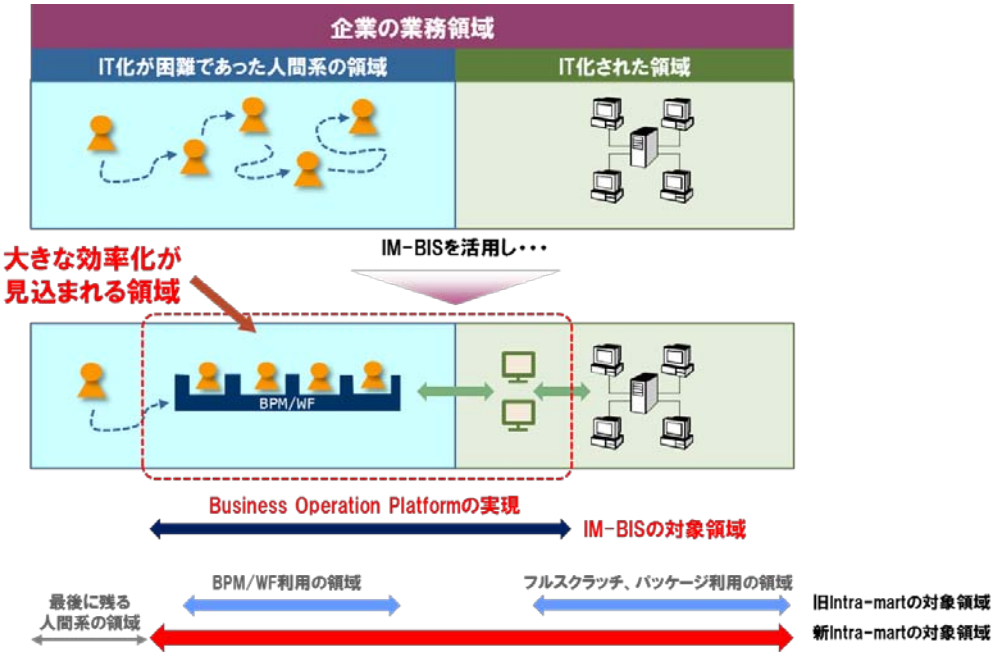
企業における効率化の実現アプローチとして、ビジネスプロセス全体の改善を継続して実施する BPM の取り組みがあります。しかしながら、BPM を実現するためのツール自体は単機能であり、エンジニア向けとなっており専門知識のないユーザにとってはツールの習得が困難であり、また費用面においても導入が困難となっています。そこでイントラマート社はエンドユーザにも使いやすく低コストにて提供可能な本製品の開発を行いました。

■「IM-BIS」に関して

IM-BIS では、まず画面作成ツールで作成した業務用の画面をワークフローツールの各タスクに組み込み、マッピングツールにより外部にある既存システム等と接続し、これにより外部 SOA (Service-Oriented Architecture)などとのデータ連携を可能にします。これにより、業務全体を効率化するための BPM／ワークフローや Web システムを構築します。また、標準の BAM 機能によりタスクごとに費やされる処理時間を分析し、ビジネスプロセスのボトルネックの改善に寄与します。



IM-BIS の導入により、迅速かつ効率的なシステムの提供が可能となります。また、ユーザインタフェースを整え画面を統一するといったフロントシステムの改善・統合や業務フローのクラウド活用、BPM/ワークフロー活用による業務の標準化・効率化を推進します。さらに、グループ企業のシステム共同利用型サービスへの適応など企業活動にとって必要となるシステム基盤としての活用が可能となります。



■販売目標について

IM - BIS は、約 2500 社の intra-mart を導入済の顧客や新規顧客に対して、イントラマート社パートナー経由で販売し年間 100 本の販売を見込みます。

■製品価格について

・intra-mart Accel Platform エンタープライズ版・・・(IM-BIS を含む統合製品)　定価：320 万円

・IM-BIS・・・(オプション製品としての提供の場合)　定価：100 万円

※別途 intra-mart Accel Platform アドバンスト版、IM-FormaDesigner が必要になります。

■製品情報サイト

・IM-BIS

http://www.intra-mart.jp/products/iap/im-bis/index.html

・intra-mart Accel Platform

http://www.intra-mart.jp/products/iap/index.html

■用語解説

※１：BPM とは、Business Process Management の略で業務管理手法のひとつ。業務の流れを可視化してプロセス単位ごとに分析・整理することにより、問題点の発見や プロセスの改善を模索する、という管理手法のこと。

※２：BAM とは、Business Activity Monitoring の略でビジネス活動を監視すること。ビジネスプロセスがあらかじめ設定したルールに適用し、ビジネスプロセスが正しく実行されているかどうかを監視、継続的なプロセス改善の遂行を促すことが推進可能。

※３：アジャイル開発とは、開発対象を多数の小さな機能に分割、小規模なイテレーション（反復）開発をし、すぐに実装・テストを行って仕様や設計の妥当性を検証するというアプローチ。

■株式会社ＮＴＴデータ　イントラマートについて

株式会社ＮＴＴデータ　イントラマートは、Web システム構築のための商用フレームワーク製品「intra-mart」の開発及び販売を中心に事業展開しております。1998 年より、当社が企画、開発した独自のシステム開発フレームワーク、業務コンポーネント群、アプリケーションシリーズは、2012 年 3 月末現在 2500 社を超える企業へ導入されており、100 社強の販売特約店と共に、システム構築、コンサルティング、教育、運用支援に到るまでのトータルソリューションを提供しています。

社　　名：　株式会社ＮＴＴデータ　イントラマート
代 表 者：　代表取締役社長　中山　義人
設　　立：　2000 年 2 月
資 本 金：　7 億 3,875 万円
売 上 高：　<連結>34 億円（2012 年 3 月期）
従業員数：　<連結>225 名（2012 年 3 月末）
事業内容：　「intra-mart」の企画・開発・販売・保守及びその導入に関するコンサルティング・システム開発・教育の提供。

報道関係お問い合わせ先

株式会社ＮＴＴデータ　イントラマート
〒107-0052
東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー
本館 3 階
セールス＆マーケティング本部　久木田、和田（文）
TEL: 03-5549-2821 / FAX: 03-5549-2816
E-mail: info@intra-mart.jp
Home Page: http://www.intra-mart.jp

※1：「intra-mart」は株式会社ＮＴＴデータ　イントラマートの登録商標です。
※2：その他記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の商標、又は登録商標です。